

年末手当3.5ヶ月要求する



国鉄新潟

NO. 891
 発行 2016年11月8日
 国鉄労働組合新潟地方本部
 発行責任者 齊藤 仁司
 編集責任者 教 宣 部



国労本部は「2016年度年末手当」の支払いに関する申し入れを10月21日にJR各社へ行いました。

6期連続 黒字を確保

JR貨物については営業収益1555億円、営業経費1470億円、経常利益59億円、当期純利益50億円を計上しました。

現在6期連続で黒字を確保し3期連続で事業計画を達成しています。

JR東日本は2016年度第1四半期決算は、単体は増収増益、営業収益・運輸収益は5期連続の増



収かつ第1四半期決算はとして過去最高となりました。

貨物会社においては、16春闘での17年連続ベア・ゼロや2013年度からは期末手当が年間3ヶ月を下回る状況になっています。

年末手当の満額獲得 要求実現に向けた取組み

①貨物組合員は、全国貨物協議会が提起している貨物会社へのハガキ行動を全力で展開する。

②各級機関は、交渉の山場を迎える11月13日から18日を集中ゾーン

とし、貨物本社等への要請行動を全力で展開すること。

③JR三島・貨物問題での国土交通省要請は10月27日に開催する。



切実な要求から かけ離れている

JR東日本の2016年度賃金引上げでは、3年連続のベースアッ

プの実施と夏季手当2・85ヶ月+2万円の回答はあったものの、切実な要求からはかけ離れた内容でした。

年末手当の交渉を客・貨一体となった取組みで要求獲得に向けてがんばっていきましょう。



2016年度 年末手当 要求項目

- 年末手当統一要求 3.5ヶ月
- 要求申し入れ 10月21日
- 支払日 12月2日まで

○JR貨物

- ①期間率、成績率の支払い条件について大幅に改善すること。
- ②支払いにあたって公平・公正に行い、社員間組合間差別は絶対に行わないこと。
- ③調査期間内に55歳に達した者、また55歳以上の社員については、55歳到達時の基準内賃金の100%を算定基礎額とすること。

- ④契約社員及び臨時社員についても、社員と同様の取扱いをすること。

○JR東日本

- ①現行の支払い条件などを改善すること。
 - 1) 「成績率」の適用について「増減額」は10/100を限度として改訂実施すること。
 - 2) 満55歳以上の社員については、満55歳に達する日の属する月の末日における基準内賃金の3.5ヶ月分の額とすること。

- ②グリーンスタッフ社員についても社員に準じた取扱いを行うこと。

- ③エルダー社員の精勤手当については、基準定額単価をそれぞれ5000円引き上げること。



多くの情報を伝えていくこと エリア本部 教宣部長会議

国労東日本本部・教宣部長会議が10月22日14時から、9地本出席で国労東日本本部会議室で開催されました。

はじめに、東日本本部・樋口教宣部長の司会あいさつで「各教宣活動の取組み強化とエリア本部に対しての要望・議論していく」とあいさつがありました。

宮崎副委員長 あいさつ

「9地本の定期大会が終了して体制がととのったことで開催することになった。国労本部、エリア本部大会以降、初の会議となる。ここから秋季年末闘争がスタートする。東日本本部全体で取組みを強化していく。



秋季年末闘争は、業長会議で取組みの方向性が決定した。東日本本部・執行委員会は年末闘争について、3ヶ月分を要求し、12月2日支払日として要求した。16春闘などで回答が遅れずれ込んだ。このようなことが無いように、今後の交渉は、来月第2週から交渉する。満額獲得をめざす。

最重要課題の組織拡大と仙台地本や大宮車両所の拡大で仲間の顔が明るい。建設的な意見がある。新採対策へ結び付けていく。」とあいさつがありました。

樋口教宣部長

全体の意見から

機関紙は定期発行月1回発行している。多くの情報を伝えていくこと。団交・業務連絡報の発行・速報性



で組合員へ伝えていく。青年部も情報を発行している。

野球大会は財政上厳しいので2年に1回の開催。ゴルフ大会への要望があった。

ホームページも地方でも開設している状況だ。対策会議を開催し地方でも開設したいと要望がある。

●機関紙の発行が出来ていない。ホームページを秋田で開設した。レクは分会単位で取り組んでいる。

○国労盛岡を月1回発行している。速報版も発行している。機関紙の交流会の開催・地本主催のレクスゴルフ・ボーリングを開催している。エリア主催マラソン・野球大会に参加している。新採対策会議の開催やポスターを作成している。

●国労仙台を月2回発行をめぐしている。速報版も発行。各支部・分会で発行している。ポスターを活用し総行動を取り組んでいる。

○国労高崎を発行・各支部教宣部担当者会議、編集委員会を地本で集中してやっている。ホームページの開設。独自レクス11月3日に運動会を予定している。45回目の開催になる。



地域共闘の仲間も参加、組合員家族を含め毎年150名参加している。

●国労水戸を発行、月2回発行をめざす。レクスゴルフを独自で開催。掲示板の活用で拡大につながっている。

○国鉄長野を月1回発行。地本大会で機関紙表彰を行っている。ホームページは車両所支部が開設している。

●国鉄千葉を月1回発行。特集号も発行、年間27号発行している。編集委員は10名、地本・支部の役員。ホームページを開設している。地本独自のレクス活動・ゴルフ大会、組織部でバスツアーを取り組んでいる。速報版で団交速報をダイジェスト版・速報千葉を発行している。

○地本情報（東京）は月1回月上旬に発行している。編集は教宣部長が担当、記事は地本執行委員会へ要請している。企画各分会の紹介で現在50分会紹介した。印刷は業者へ依頼している。レクスゴルフは各地区本部・支部で開催している。マラソン大会は1月に開催。野球大会・海釣り・ボーリング大会を開催している。スキー大会の開催は昨年で最後となった。ホームページについて議論したが開設できていない。更新が困難だ。

JAL不当解雇撤回を求める闘い

JAL不当解雇撤回の早期解決に向けてJAL三労組の統一要求が10月19日に会社へ提出されました。緊急の団体署名が取り組まれています。新潟でも国労本部の闘争指示第32号を受けて合同会議を11月18日に開催し具体的な取組みについて議論します。県平和センター・新潟地区労会議・県労連など呼びかけています。

